

# ネオニコチノイド系農薬を考える

～生きものが元気になる農家と消費者の協働を目指して～

2014年

11月30日(日)

14:00～16:00 (開場 13:30)

金沢勤労者プラザ

304・305 研修室

住所：金沢市北安江 3-2-20



参加費無料 (定員 70名)

田んぼでの空中散布に代表されるネオニコチノイド系農薬による害虫防除。ミツバチ大量死の原因ともいわれているこの農薬は、田んぼの生きものや生態系、そして田んぼで作られたお米を食べる人にどんな影響があるのでしょうか。身近な田んぼの自然環境と、食の安全を考えるシンポジウムです。河北潟地域でのネオニコフリーエリア拡大を目指した「生きもの元気米」についても報告します。

## 内容

基調講演 「新農薬ネオニコチノイドが脅かす ミツバチ・生態系・人間」  
水野 玲子 (NPO 法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 理事)

現場からの報告 「生きもの元気米の取り組みと生物調査からわかったこと」  
高橋 久 (NPO 法人河北潟湖沼研究所 理事長)

「生きもの元気米に取り組んで～栽培農家からの報告」  
宮野 義隆 (農事組合法人 One 副代表)

助言 山田 敏郎 (金沢大学名誉教授)

参加のお申し込み・お問合せは裏面から

主催：NPO 法人河北潟湖沼研究所 協力：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

後援：一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

本事業は一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストより助成を受けて実施するものです。

# ネオニコチノイド系農薬を考えるシンポジウム

## 水野 玲子 氏 プロフィール

1953 年生まれ。NPO 法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議理事。NPO 法人化学物質による大気汚染から健康を守る会理事。子どもの健康や環境化学物質の問題に取り組み、調査・研究などをおこなっている。主論文「霞ヶ浦、利根川河口地域における男児出生比率の低下」(『科学』・2000)、著書「農薬ネオニコチノイドが日本を脅かす—もうひとつの安全神話」(七つ森書館・2012)。ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議監修「知らずに食べていませんか？ネオニコチノイド」(高文研・2014)では編者をつとめる。

## シンポジウム会場のご案内

**会場：金沢勤労者プラザ 304・305 研修室**  
金沢市北安江 3-2-20

### <電車の場合>

金沢駅西口より徒歩 10 分。

### <バスの場合 (北鉄バス)>

笠舞駅西線 (香林坊—戸水)

・・・勤労者プラザ前バス停すぐ前。

錦町粟崎線、内灘線 (香林坊—粟崎・内灘・宇野気)

・・・北安江バス停より徒歩 2 分。

### <お車の場合>

勤労者プラザ駐車場 (有料・割引有) をご利用ください。

＊勤労者プラザ駐車場の駐車料金＊

参加者の方は会場内で駐車割引を受けることができます。割引を受けた後の料金は 1 時間無料、以後 1 時間ごと 100 円です。



## 参加のお申込み

- 参加を希望される方は、下記事項をご記入の上、FAX または E-Mail でお申し込みください。
- 当日参加も可能ですが、お席は事前申し込みされた方優先となります。

## 参加申込書

ふりがな お名前	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
〒 ご住所								
E-Mail								
FAX 番号	ご職業							

<参加申込・問合せ先> NPO 法人河北潟湖沼研究所

▶ FAX : 076-255-6941 ▶ E-Mail : [info@kahokugata.sakura.ne.jp](mailto:info@kahokugata.sakura.ne.jp)

NPO 法人河北潟湖沼研究所 〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ 9-9 電話 : 076-288-5803